

1 発掘調査経歴書

○ 経歴は直近から記述し、指定用紙の範囲内で記述して下さい。
 ○ 元号の表記は昭和はS・平成はH・令和はRで記入して下さい。

「内容」欄には担当・従事のどちらか一方に○を付けて下さい。

時期・期間				場所(都道府県・市町村)		遺跡名	内容								
R	元	年	7月	～	R	2年	3月	9	ケ月	東京	都	中央	区	A 遺跡	担当・ <u>従事</u>
H	4年	4月	～	H	6年	3月	24	ケ月	埼玉	県	熊谷	市	B 遺跡	<u>担当</u> ・従事	
S	59年	5月	～	S	60年	3月	11	ケ月	群馬	県	渋川	市	C 遺跡	担当・ <u>従事</u>	
	年	月	～		年	月		ケ月						遺跡	担当・従事

記入上の注意事項

1. 発掘調査と資料整理・発掘調査報告書執筆に分けて記入すること。
2. 元号は、昭和=S、平成=H、令和=Rで標記すること。
3. 遺跡の所在地は、調査・整理当時の行政区分で記入すること。
4. 内容は、具体的に記入すること。
5. 書き方等で不明・疑問等がある場合は、当団に連絡し確認して下さい。

記入例

2 資料整理・発掘調査報告書執筆経歴書

○ 経歴は直近から記述し、指定用紙の範囲内で記述して下さい。
 ○ 元号の表記は昭和はS・平成はH・令和はRで記入して下さい。

内容欄には具体的な業務を記入

時期・期間				場所(都道府県・市町村)		遺跡名	内容								
R	元	年	7月	～	R	2年	3月	9	ケ月	東京	都	中央	区	A 遺跡	遺物実測・採拓
H	4年	4月	～	H	6年	3月	24	ケ月	埼玉	県	熊谷	市	B 遺跡	デジタルトレース	
S	59年	5月	～	S	60年	3月	11	ケ月	群馬	県	渋川	市	C 遺跡	本文執筆・観察表執筆	
	年	月	～		年	月		ケ月						遺跡	

3 著述経歴書

○ 元号の表記は昭和はS・平成はH・令和はRで記入して下さい。

発行年月	書名・論文名・報告書名	内容	発行機関
R 元 年 11 月	●●文化の展開	●●文化の概念について・●●文化の特徴と▲▽文化との相違点について・●●文化の時期区分・●●文化の終焉	
H 27 年 12 月	○○○遺跡発掘調査報告書	縄文時代中期後半の集落跡・編集及び執筆 竪穴建物40基・土坑350基等・土器・石器等800点掲載	○○県□□市教育委員会
H 26 年 10 月	◇◇◇研究 第▽▼号 ◎◎◎遺物に関する一考察	出土遺跡の分布状況・◎◎◎遺物の形態分類(形状・大きさ・重さ)・共伴遺物と時期・まとめ	□◇◆研究会